

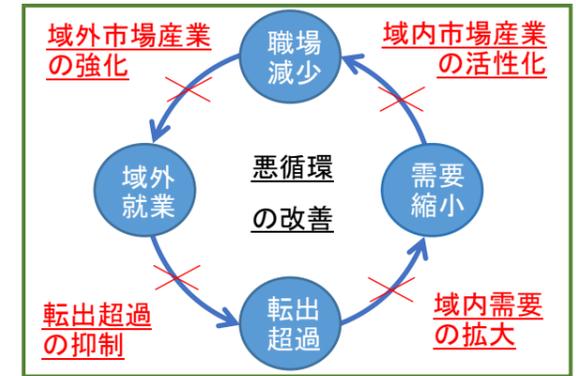
平成29年度の実施事業と平成30年度の取組

<定住促進重点戦略とアクションプラン（AP）>

【住む】 集落地域の活性化と移住支援 転出超過の是正 380人/5年（76人/年）
【働く】 雇用の創出と就職支援 就業率 57.2%維持
【産み育てる】 少子化対策 出生数 1,280人/5年（256人/年）
【まちの魅力】 選ばれるまちづくり 観光入込客数 136万人/年

- 転出超過は18～35歳までの若年層で発生
- 若年層の流出や未婚・晩婚化による出生数の減少
- 転出先の約7割が近隣の都市地域（たつの市・姫路市）
- 望む教育環境を求めて地域外の高校・大学へ進学
- 期待する就職先の不足、人口減少による経済活動の縮小
- 担い手の不足による企業の撤退・移転
- 地域内での経済循環率の低下、地域外での知名度の低さ
- 地域への誇り、愛着心の低さ（転出者）

- AP1 森林から創まる住まい環境づくり
- 子育て応援・定住促進の住環境整備 -
- AP2 森林から創まる彩と生業づくり
- “日本一の風景街道”の創造 -
- AP3 森林から創まる生活圏の拠点づくり
- 生活圏ネットワークの構築 -



<アクションプランの実施事業と今後の取組>

平成29年度の実施事業	課題の解消に向けて	平成30年度の新取組	取組の狙い
<p>【住宅・子育て環境の整備、直接的な支援】 若者・子育て世代への住宅支援（63世帯/年）</p> <p>A P 1 森林大学の住環境整備による学生の確保 子育て世代包括支援C開設（支援強化・心のケア） 1 地域経済循環調査（買い物等循環率の維持が課題） 公共交通の利用促進（利用者4万人増/年） 子育て応援特設サイト（情報収集・発信）</p>	<p>○アクションプランの取組継続・発展</p> <p>○課題解決に向けた取組（以下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林のまちとして、子育てや教育を通じた宍粟を知る取組 ・子育て世代への直接的支援の拡大 	<p>A P 1 木が好きな人を育てる「木育」を子育て支援を通じて推進し、その行動プラン「ウッドスタート」の県内初認証 子育て世代からニーズの高い可燃ゴミの収集回数拡大（モデル地区での実施）や小・中学校での給食費支援（第3子以降） 子育て世代が必要とする情報を発信する子育てアプリの導入</p>	<p>地域を知る・好きになる 特色ある子育て・教育 移住・定住促進強化 情報発信の強化</p>
<p>【風景づくり×生業づくり、地域の誇り醸成】 風景街道プラットフォームづくりに向けた勉強会と地域活動団体の取組発表による情報発信・共有 風景街道づくりに向けた広葉樹の育成 観光拠点（道の駅・カヌー）の魅力化 山崎中心市街地への支援 新規林業事業体への雇用・機械への支援 畜産（宍粟牛）のブランド強化に向けた施設整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動団体のネットワーク化に向けた「つながりの場づくり」を推進による連携強化 ・風景づくりなど地域の活動団体の取組拡大や情報の発信・拡散 ・風景づくりを意識した一次産業の推進 ・他との違いを明確にした取組や情報発信 	<p>A P 2 風景づくりに取組む活動団体の思いを分かりやすく伝える情報発信や風景づくりに新たに取組む団体への必要な支援の検討 「日本酒のふるさと」「発酵のまち」を活かしたブランド戦略やプロモーションの強化 農産物等の東京圏でのプロモーション（販路拡大・PR） 市民が自主的に進める広葉樹植栽への支援による里山づくり</p>	<p>風景づくりに取組む活動団体をPRすることによるネットワーク化 農林水産物等ブランド化 一次～三次産業の強化</p>
<p>【人口減少下における持続可能な地域構造】 一宮・千種の拠点づくり計画策定に向けた検討 地域内外より人が集まる拠点施設の検討 一宮北部地域での拠点整備（御形の里づくり）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なコミュニティ形成に向けた取組 ・買い物など生活サービスを維持するための取組や高齢化に対応する地域体制づくり 	<p>A P 3 一宮：公共施設を集約した拠点施設の整備 波賀：拠点づくり計画策定に向けた検討委員会の設置 千種：拠点づくり計画の策定と拠点施設の整備に向けた設計 御形の里づくり事業の機能強化・利用促進</p>	<p>将来的な地域体制づくり 拠点における経済活動の活発化、地域内循環 地域活動の活発化</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用と就職のマッチングを図る取組 ・市内企業の求職状況の把握と若者等が働きやすい環境づくりに向けた取組 ・地域の企業について認知度を高める取組 ・市外にでている学生・若者への情報発信 ・将来を担う若者が地域づくりに関わる取組や若者の成長につながる取組（若者会議） 	<p>新 規 【地域人材カフル活用プラットフォーム構想】 総合的な仕事の相談窓口の設置による雇用と就職のマッチング 企業PRサイトの構築と都市部での企業説明会 地域人材の誘致や地域産業の活性化、移住・定住を促進する事業に活用できる基金創設 若者同士が地域づくりの中で若者同士が議論し、協働して活動する場づくり</p>	<p>若者の市内就職の推進 担い手不足の解消 U・I・Jターン促進 事業のスピード感 取組のPR、連携 若者目線での地域づくり</p>